



独自の認定基準を設定

矢崎グループでは、環境配慮設計について独自の認定基準を設け、すべての開発部門において、設計段階から製品にかかわる環境負荷の低減と製品の付加価値の向上をめざしています。2017年度は、環境配慮型製品として24件を認定しました。

ここでは、2017年度に開発または販売を開始した環境配慮型製品の一部をご紹介します。

環境配慮型製品事例

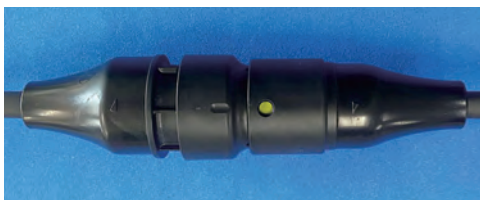
01

トンネル防水コネクタの改良

2011年に販売開始した「ワンタッチ防水コネクタ」は、トンネルの照明器具をはじめとする照明器具配線の接続に使われています。本製品は、さまざまな種類のケーブル端末にあらかじめコネクタを組み付けておくことにより、暗所や狭所での接続作業を短時間で簡単、確実に行うことができます。2017年度、この特長に加えて、「確実に接続されていることを容易に確認したい」「半嵌合状態では導通しない構造が欲しい」というお客様のニーズにお応えした改良型として、「EGy（イージー）防水コネクタ」をリリースしました。嵌合確認窓と嵌合シールを本体上に構成し、従来の音と感触の確認に加えて、目視による嵌合状態の判別を可能としました。このほか、新しいロック構造を採用したことで半嵌合状態では導通しない構造となり、安全性の向上にも貢献しています。さらには部品統一化や金型の見直しによりコネクタモールド部の成形回数が1回で済み、旧型に比べ材料ロスの低減や製造時の省エネルギー化に貢献しています。



嵌合確認窓と嵌合シール（黄色）



嵌合状態

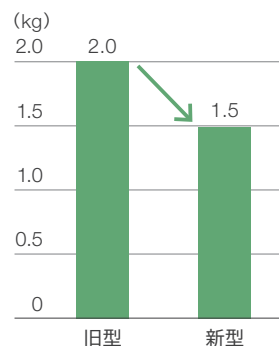
02

業務用超音波式ガスメーター（EBY6）の改良

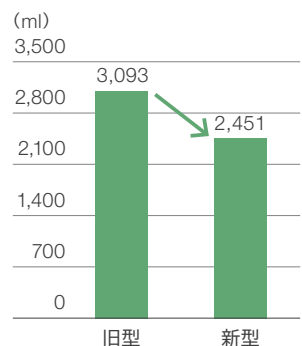
EBY6は、2012年に業界初として発売された超音波式の業務用保安ガスメーターです。このガスメーターは、機械式機構部を廃止したことによる軽量・小型化と、ガス漏れなどの異常状態をいち早く判定可能とする瞬時流量計測が特長です。

2017年度のモデルチェンジでは、保安・通信機能の向上を図るとともに、部品点数を22点削減しました。この結果、重量比25%減、容積比20%減の軽量・小型化に成功しました。また、生産工程においては、主力ガスメーターとの共通ラインによる生産を可能としたことで、製造時のロスの削減ならびに省エネルギー化に貢献しています。さらにガスメーターの梱包についても見直した結果、輸送に関する信頼性を確保しながら容積比51%削減を達成し、大幅な廃棄物削減を実現しました。

重量



容積



従来品（左）と開発品（右）の比較